

III 症状ごとの対応

2 食べた・飲んでしまった場合

●何もせず様子を見て大丈夫なとき

下記のようなものを食べたが、息が苦しくなさそう。

ビニール製品、硬貨、紙製品、消しゴム、鉛筆の芯、絵の具、クレヨン、線香、口紅 など



ただし、こんなときはすぐ、病院へ！

①ボタン電池、鋭利なもの（ピン、画鋏など）、スプーンなどの大きなものを飲み込んだ。

②漂白剤、トイレ用洗剤、除草剤、ホウ酸だんご、農薬等

ほかにもいろいろと考えられますが、迷ったときは以下の窓口にご相談を。

☎中毒110番（情報料：無料）

【大 阪】072-727-2499 365日 24時間

【つくば】029-852-9999 365日 9時～21時

☎タバコ専用電話

（情報料：無料、テープによる一般市民向け情報提供）

072-726-9922 365日 24時間



タバコを食べたとき

誤飲でもっとも多いのは、タバコです。

●様子を見てよい場合

食べた量が、1／3本以下（2cm以下）であれば心配いりません。

●病院へ連れて行くとき

■半分以上食べたとき、量がわからないとき。

■灰皿の水を飲んでしまった。

水に溶けたニコチンは、中毒を起こすので非常に危険です。



水を浸した灰皿をお子さんの近くに置かないこと。また空き缶を灰皿代わりに使うのもやめましょう。



家庭での対処方法

①水を飲ませる

水を飲ませるのは、毒を薄めるためです。しかし、揮発性のものには効果がありません。

